

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コラゾン千葉中央		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様、保護者様の満足度	新鮮さを感じてもらうため、毎回違うメニューを取り入れることを意識しており、その月に応じて季節にちなんだメニューを取り入れている。その反面、野球やバスケットボール等の球技やゲーム形式のものでは、月の終わりには今まで練習してきた成果が見せれるよう、そのお子様のレベルに合わせて総まとめも行っている。	引き続き、お子様が楽しめる、そして保護者様も見ていておもしろい、成長を感じられると思えるメニューの考案、開発を行っていく。
2	スモールグループのため、お子様一人ひとりと密にかかわれる	関わりやすい少人数制に対してスタッフ2名でレッスンを提供している為、一人一人の運動面に対しての課題をクリアしていけるよう、また、情緒面等で崩れてしまった際にはスタッフが ついてマンツーマンでの体制が取れる。 お子様同士でのコミュニケーションをとる際にも必要であればスタッフが積極的に仲介することができている。	引き続き、スモールグループとしての価値、お子様の成長を感じながらも、個別対応の際にはどのようなスタッフでも対応できるよう、知識を積んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフの専門性の質	経験なども踏まえて、専門性が一律ではないと感じることがある。	普段のミーティングやケース会議などを通して、どのような支援方法があるのか、何が適切なのかを常に話し合い、実行し、実行したあとどうだったかなどフィードバックを行い、常に模索を行っていく。
2	外部との連携	他事業所との連携が少ないため、複数事業所通われている方の情報に乏しいと感じることがある。	事業所間で連携が取れるよう、相談支援事業所との関係性を築いていき、相談させていただくとともに、地域の連絡会などにも参加し、他事業所の皆様と顔を合わせる機会を設けていく。
3			